

研究者受入事業

※研究者受入事業は2019年度から研究者交流事業のなかの研究者受入として実施。

年度	産油国 機関名	研究者氏名	日本受入機関 / 指導教官	研究（研修）テーマ	研究期間
1993	KFUPM	Dr. Abdullah S. Al-Zakri	今後の研究交流の進め方についての協議するため、及び研究者受入機関候補先の視察のため招聘した。訪問先は次の通り。 資源エネルギー庁 海外協力分科会委員との会議 出光興産(株)研究所 物質工学工業技術研究所 京都大学、東京工業大学		4月12日～ 4月20日
		Dr. Ali G. Ma'adhah			
		Dr. Yaw D. Yeboah			
1994	KUFPM	Dr. Sulaiman Salih Al-Khattaf	日本石油(株)中央技術研究所	Synthesis and Characterization of cracking zeolite-amorphous composite catalysts	7月18日～ 11月30日
1995	KFUPM	Dr. Hussein Saleh Almuallim	東京工業大学 情報理工学研究所	人口知能の触媒反応工学研究への応用	7月18日～ 11月30日
	KISR	Dr. Abdulhadi Al-Otaibi	今後の研究交流の進め方についての協議するため、及び研究者受入機関候補先の視察のため招聘した。訪問先は次の通り。 資源エネルギー庁 石油公団（採油増進技術に関する研究協力） 海外協力分科会委員との会議 出光興産(株)研究所 日本石油(株)中央技術研究所、ジャパンエナジー総合研究所 石油産業活性化センター		2月26日～ 3月6日
		Dr. Adnan Al-Homoud			
		Dr. Jasem Al-Besharah			
		Dr. Mohammed Salman			
1996	KUFPM	Dr. Syed Ahmed Ali	石油産業活性化センター 石油基盤 技術研究所 高機能触媒研究室	Thermodynamic Considerations in Hydrotreating of Petroleum Fractions	8月26日～ 9月30日
1997	KFUPM	Dr. Jamal Mohammed S. Salamataallah	日本石油(株)中央技術研究所	FCCパイロットプラントの運転技術の研究	7月15日～ 9月2日
		Dr. Hassan Hashem G. Al-Suaibi Al-Ghamdi	石油産業活性化センター 石油基盤技術研究所 高機能触媒研究室	水素化分解触媒の研究	
		Dr. Mohammed Elias Biswas			
	KISR	Dr. Abdulwahab Al-Baroud	ジャパンエナジー総合研究所	水素化精製パイロットプラントの設計、 管理、実験技術	2月4日～ 2月19日
		Dr. Salah Enezi			
1998	KUFPM	Mr. Khalid Jafar Mohammed Al-Nawad	PEC高機能触媒研究室	水素化分解触媒の研究	8月19日～ 10月2日
		Mr. Mohammed Abdul Bari Siddiqui	日本石油(株)中央技術研究所	FCC触媒に係わる研究	8月19日～ 9月25日
		Mr. Khurshid Alam	PEC高機能触媒研究室	ゼオライト触媒の研究	8月16日～ 10月2日
	KISR	Dr. Abdulazeem M. J. Marafi	日本石油(株)中央技術研究所	Training on the evaluation of Petroleum and Petroleum Products	10月11日～ 10月30日
		Dr. Hisham Al-Henayyan			10月11日～ 10月23日
	KAUU	Dr. Abdul-Rahim A. Samarkandy	今後の研究交流の進め方についての協議するため、及び研究者受入機関候補先の視察のため招聘した。訪問先は次の通り。 資源エネルギー庁、石油産業活性化センター、海外協力分科会委員との会議、業技術院物質工学工業研究所、大阪大学工学部応用化学科		7月12日～ 8月22日
		Dr. Uthman M Dawoud			
1999	KUFPM	Dr. Aymen Abdulmajeed Kayal	日石三菱	石油を中心とする技術移転制度と特許関係の実態調査	8月10日～ 8月27日
		Dr. Shakeel Ahmed	東京工業大学 石油産業活性化センター 石油基盤技術研究所 高活性触媒研究室	重質油の水素化分解用触媒の研究	8月10日～ 9月14日
	KISR	Mr. Faisal Salman Al-Humaidan	ジャパンエナジー精製・技術部精製技術センター	パイロットプラントのメンテナンス	7月7日～ 7月28日
		Mr. Mubarak Muhammed Mejabel			
	KAUU	Dr. Iqbal Mohammed Ismail	横浜国立大学工学部物質工学科	新しいリチウム塩を複合化したポリエチレンオキシド錯体の電気化学的特性	11月25日～ 12月7日
		Dr. Abdul-Ghani Hamza Sulaiman	今後の研究交流の進め方についての協議するため、及び研究者受入機関候補先の視察のため招聘した。訪問先は次の通り。 資源エネルギー庁、石油産業活性化センター、海外協力分科会委員との会議、千代田化工総研、化学技術開発センター、東京大学、東京工業大学、京都大学		5月24日～ 5月28日
		Dr. Abdul-Rahim A. Samarkandy			
2000	KUFPM	Dr. Mohammad Ashraf Ali	横浜国立大学 石油産業活性化センター 石油基盤技術研究所 高活性触媒研究室	重質油の水素化分解用触媒の研究	8月21日～ 9月26日
		Dr. Azfar Hassan	東京大学	重質油の水素化分解用触媒の研究	6月26日～ 7月28日
	KISR	Dr. Dawoud Bahzad	出光興産中央研究所 工業技術院物質工学工業技術研究所	重質油の水素化分解に関する研修	9月4日～ 9月28日
		Mr. Abdul Mohsen Akbat			
	KAUU	Dr. Iqbal Mohammed Ismail	横浜国立大学工学部物質工学科	新しいリチウム塩を複合化したポリエチレンオキシド錯体の電気化学的特性	1999年 7月14日～ 2000年 7月7日
		Dr. Uthman M Dawoud	サウジアラビアの産業・民生両面で問題の大きい「腐食、防食」分野の研究者を日本に長期派遣したいという事で、関係先訪問のため招聘した。訪問先は次の通り。 日揮、住友金属総合研究所、出光興産中央研究所、東京大学、大阪大学		5月29日～ 6月2日

年度	産油国 機関名	研究者氏名	日本受入機関 / 指導教官	研究（研修）テーマ	研究期間
2001	KFUPM	Dr. Shakeel Ahmed	㈱JCCP高機能触媒研究室	VGO水素化分解触媒の特性、安定性及び性能評価	7月30日～ 8月17日
		Mr. Abdulgader Abdulaziz Maghrabi	日石菱油エンジニアリング(株)	HS-FCCのデモンストレーション用プラントの設計	7月16日～ 8月31日
	Saudi Aramco	Mr. Muhsin D Al-Khudhairi	日石菱油エンジニアリング(株)	HS-FCCのデモンストレーション用プラントの設計	7月16日～ 8月31日
	KAAU	Dr. Mohammed Ismail Abdulsalam	東京大学大学院 工学系研究科 篠原正 助教授	すきま腐食のモデル化に関する研究	5月21日～ 9月14日
	KACST	Mr. Nasser M.D. Al-Harbi	東北大学大学院 工学研究科 山田宗慶 教授	水素化精製触媒の水素化脱硫、芳香族水添、水素化分解の基本性能における改良の研究	9月20日～ 12月12日
	KISR	Mr. Abdul Majeed Al-Mutawa	(株)ジャパンエナジー 精製技術センター	石油の分析試験に関する研修	9月9日～ 10月11日
		Mr. Abdullatif Dashti			5月24日～ 6月23日
2002	KFUPM	Dr. Syed Ahmed Ali	TOCAT4 ㈱JCCP高機能触媒研究室 新日本石油研究所	水素化分解触媒の調製と特性と評価	6月12日～ 6月28日
		Dr. Mohammad Ashraf Ali	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫 教授	重質油水素化分解の貴金属触媒の調整	6月12日～ 7月9日
	KAAU	Dr. Mohammed Ismail Abdulsalam	独立行政法人 物質・材料研究機構 篠原正 ディレクター	モレア法で測定した金属溶解速度に基づくすきま内液性の物質移動解析	8月15日～ 10月7日
	KACST	Mr. Saud Abdulaziz Al-Drees	京都大学大学院 工学研究科 出光興産(株) 中央研究所	ニッケルを含むヘキサアルミネート触媒によるメタンの部分酸化からの合成ガス製造	8月20日～ 11月10日
	KISR	Mr. Ayedh Al-Mutairi	出光興産(株) 中央研究所	原油直接品質改善プロセスのパイロットプラント運転修得と熱的解析	5月24日～ 6月23日
		Mr. Masoud Al-Marri			
2003	KFUPM	Dr. Zaki Shaker Seddigi	東京大学 工学系研究科 大久保達也 助教授	マイクロ及びメソポーラス材料の合成とその特性に関する研究	7月7日～ 7月14日
		Dr. Shakeel Ahmed	京都大学大学院 工学研究科 江口浩一 教授	水－ガスシフト反応に関する研究	7月14日～ 8月8日
		Dr. Mohammad Ashraf Ali	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫 教授	水素化分解触媒の評価	7月23日～ 8月20日
	KAAU	Dr. Mohammed Ismail Abdulsalam	独法）物質・材料研究機構 篠原正 ディレクター	すきま内腐食の電気化学特性の研究	8月18日～ 9月11日
	KISR	Mr. Abdul-Wahab S. Al-Hendi	コスモ石油(株) 中央研究所 触媒化成工業(株) 触媒研究所	軽油の深度脱硫のためのパイロットプラントの管理運転の研修	1月19日～ 1月30日
		Mr. Ahmed Al-Otaibi		残油アップグレーディングのためのパイロットプラントの管理運転の研修	2月2日～ 2月18日
2004	KFUPM	Mr. Musaed Salem M. Al-Ghamdi	島根大学 総合理工学部 岡本康昭 教授	MoS ₂ /Al ₂ O ₃ およびCoMoS ₂ /Al ₂ O ₃ 触媒の水素化脱硫活性に及ぼすホウ素の添加と調整法の影響	7月20日～ 8月20日
		Dr. Sulaiman S. Al-Khataff	秋田大学 工学資源学部 中田真一 教授、 元田慎一助 教授	ペロブスカイト型酸化物触媒によるプロピレンの酸化反応に関する研究	7月26日～ 8月16日
	KAAU	Dr. Mohammed Ismail Abdulsalam	東京海洋大学 海洋工学部	海洋性大気環境下における亜鉛めっき鋼板およびアルミ合金の耐食性	8月11日～ 9月8日
	KISR	Dr. Mahmoud Al-Shamali	(株)ジャパンエナジー 精製技術センター (株)ジャパンエナジー 分析センター 丸山文夫 主任研究員	石油評価の研修プログラム	6月28日～ 7月16日
		Mr. Ayyad Toman Al-Dhafeeri			
	UAEU	Dr. Ali H. M. Hassan Al-Marzouqi	東北大学大学院 工学研究科 猪股宏 教授	原油中の重質成分（C ₊ ）のキャラクタリゼーション	7月5日～ 8月13日
2005	KFUPM	Dr. Nadhir A. H. Al-Baghl	北海道大学大学院 工学研究科 増田隆夫 教授	シリカライト-1とZSM-5ゼオライト内のベンゼン、p-キシレン及びm-キシレンの拡散係数の測定	6月18日～ 7月21日
		Mr. Abdul-Rahman F. Al-Betar	広島大学大学院 工学研究科 塩野毅 教授	シングルサイト触媒によるオレフィン重合に関する研究	6月28日～ 7月27日
	KAAU	Dr. Hisham Saeed Bamuffeh	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫 教授	軽油脱硫への運転条件の影響の研究	7月4日～ 7月29日
	KISR	Mr. Naser Al-Enzi	出光興産(株) 中央研究所 太田信之 テーマリーダー	パイロットプラントの管理、運転およびデータ解析	6月19日～ 7月16日
		Mr. Jamal Al-Fadhli			
	UAEU	Dr. Samir I. Abu-Eishah	東京工業大学 理工学研究科 小菅人慈 助教授	共沸気液平衡データの測定とシミュレーション	6月22日～ 7月22日
2006	KFUPM	Dr. Abdulaziz Abdulla Al-Shuaibi	群馬大学 工学部 斎藤三郎 教授	ラプラス変換による実数値の逆変換	6月19日～ 8月18日
		Dr. Hasan Ali Al-Muallem	東京大学大学院 工学研究科 相田卓三 教授	デンドリマーに関する研究	7月30日～ 8月31日
	KAAU	Dr. Mohammed Ismail Abdulsalam	横浜国立大学 工学部 朝倉祝治 名誉教授	石油産業における防食・腐食技術指導者の教育法	8月3日～ 9月13日
	KACST	Mr. Ahmad Abdullah O. Al-Omar	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫 教授	軽油の水素化脱硫触媒の調製・評価	8月7日～ 9月12日

年度	産油国機関名	研究者氏名	日本受入機関 / 指導教官	研究（研修）テーマ	研究期間
2006	KISR	Dr. Dawoud M. Bahzad	京都大学大学院 工学研究科 江口浩一教授	燃料電池のための水素製造用触媒の調製と開発	6月12日～7月7日
		Ms. Khalidah M. S. Al-Dalama	島根大学 総合理工学部	Co(CO) ₂ NOを使用したCVD法による水素化脱硫触媒のキャラクタリゼーションに関する基礎的研究	6月12日～7月7日
	UAEU	Dr. Mohamed Humaid Mohamed Hassan Al-Marzouqi	神戸大学 工学部 応用化学科	メンブレンの作製とガス-液メンブレンコンタクターによるガス中の炭酸ガス除去のシミュレーションの構築	7月12日～8月22日
2007	KFUPM	Dr. Ali Osman Oncel	京都大学 防災研究所 橋本学 教授	サウジアラビアの油田地帯における地震メカニズム予知の研究	7月2日～8月10日、8月27日～8月31日
			産業技術総合研究所 地震資源開発 西澤修 主幹研究員 研究部門 物理探査研究グループ	岩盤通過時の四次元地震波伝播の流体の影響	8月13日～8月24日
		Dr. Mohammad Naseem Akhtar	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫 教授	LPGから芳香族化合物への転化反応の研究	7月30日～9月7日
	KACST	Mr. Feras Ahmed Al-Shehri	島根大学 総合理工学部 岡本康昭 教授	Co(CO) ₂ NOを用いたCVD法による酸化チタン担持 Co-MoS ₂ 触媒の表面構造に関する研究	7月5日～8月3日
			東北大学大学院 工学研究科 山田宗慶 教授	軽油の超深度脱硫触媒の失活に関する基礎研究	8月6日～9月3日
	KISR	Mr. Abdulwahab F.A.A. Al-Barood	ジャパンエナジー 精製技術センター 松田健一 所長	軽油の水素化脱硫時の水素化脱硫触媒性能における窒素化合物の被毒の影響	6月28日～7月27日
		Dr. Abdulazeem M. J. Marafi	九州大学 産学連携センター 持田勲 特任教授	軽油留分中の硫黄、窒素及び多環芳香族化合物の分析における最新技術の活用	2月4日～2月29日
	Saudi Aramco	Dr. Ali Mahmoud Al-Somali	触媒化成工業 若松触媒研究所 執行役員 福田盛男 所長	DAO水素化分解触媒のパイロットプラント操作に関する研究	11月25日～12月7日
	UAEU	Dr. Eisa Ali Hasan Ali Matroushi	京都大学大学院 工学研究科 稲室隆二 教授	管内の液滴及び気泡の合および相互作用に関する研究	6月25日～7月25日
	2008	KFUPM	Dr. Jaafar H. AlMutawa	京都大学 大学院情報学研究所 太田快人 教授	部分空間同定法を用いた工学システムの状態空間表現に関する研究
Dr. Mohammed Abdulmajeed Aldaous			九州大学 先端物質化学研究所 尹聖昊 教授	CoMoZrO ₂ 触媒のLCO脱硫性評価	7月31日～8月25日
Dr. Mohammad Naseem Akhtar			北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫 教授	LPGから芳香族化合物への転化反応の研究	8月25日～10月2日
KISR		Ms. Fatma Jassem	名古屋大学 大学院工学研究科 田川智彦 教授	メタン改質触媒の特性解析、マイクロリアクターの解析	7月7日～8月4日
		Dr. Hamza Albazzaz	鹿児島大学 工学部 甲斐敬美 教授	常圧残渣油の脱硫反応装置のコールドフローモデルの研究	1月13日～2月6日
		Dr. Narjes Ghaloum			
		Dr. Ayman Al-Qattan	京都大学大学院 工学研究科 江口浩一 教授 他	燃料電池開発関連先訪問と第5回国際水素・燃料電池展視察&講演会出席	2月22日～2月28日
		Dr. Faisal Al-Humaidan			
UAEU		Dr. Nayef Mohamed Ghasem	神戸大学大学院 工学研究科	UAEにおける天然ガスからのCO ₂ 分離に用いる高分子多孔質膜の作製	7月22日～8月22日
KACST		Mr. Issa Mohammed Abaalkheel	広島大学 大学院工学研究科 松山秀人 教授	シングルサイト触媒によるオレフィン重合に関する研究	10月3日～11月7日
2009	KFUPM	Dr. Muhammad Naseem Akhtar	北九州市立大学 国際環境工学部 浅岡佐知夫 教授	ヘキサン芳香族転化用新規触媒の開発	7月30日～9月24日
	KACST	Mr. Mohammed Hassan H Almusawa	広島大学 大学院工学研究科 塩野毅 教授	シングルサイト触媒によるオレフィン重合に関する研究	6月1日～7月21日
	UAEU	Dr. Eisa A Ali Matroushi	京都大学大学院 工学研究科 稲室隆二 教授	管内の液滴及び気泡の合および相互作用に関する研究	7月1日～7月31日
	KISR	Dr. Yussef Haji Mirza Sebzaly	コスモエンジニアリング 営業部長 三池哲也	ペーパー回収技術・回収方法・回収システムとペーパー回収システムの石油産業での応用に関する研究	2月15日～2月23日
		Dr. Mahmoud Ayesb Al-Shamali	新日本石油 製造技術本部 技術部長 安達博治	ペーパー回収技術・回収方法・回収システムとペーパー回収システムの石油産業での応用に関する研究	2月24日～2月26日
	INTEVEP	Dr. Omayra Zuleika Delgado Gonzalez	北海道大学大学院 工学研究科 増田隆夫 教授	担持触媒を用いた残渣油と重質油の水蒸気雰囲気下の酸化的軽質化反応	10月6日～11月16日
2010	KFUPM	Dr. Mohammad Mozahar Hossain	北海道大学大学院 工学研究科 増田隆夫 教授	酸化鉄系触媒を用いた水蒸気と超臨界水雰囲気中のオイルサンド、ピッチューメン等重質油の軽質燃料化	8月4日～9月15日
	KACST	Mr. Abdalmajeed Mohammad Algaflah	広島大学大学院 工学研究科 佐野庸治 教授	①ゼオライトの合成、②ヘテロポリ酸のカウンターカチオン交換、③海水からの層状ケイ酸塩へのガリウムイオンの濃集	6月18日～8月5日
	UAEU	Dr. Eisa A Ali Matroushi	京都大学大学院 工学研究科 稲室隆二 教授	管内の液滴及び気泡の合および相互作用に関する研究	6月29日～7月28日
	KISR	Mr. Adel M S A Almutairi	九州大学 産学連携センター 持田勲 特任教授	石油留分油の分析及び脱硫触媒に関する教育	12月13日～12月25日
		Mr. Rashed Y Bouresli	九州大学 産学連携センター 持田勲 特任教授	石油留分油の分析及び脱硫触媒に関する教育	
	INTEVEP	Dr. Juan Carlos De Jesus Rodriguez	北海道大学 触媒化学研究センター 朝倉清高 教授	表面科学的手法による触媒表面解析	10月5日～11月26日

年度	産油国 機関名	研究者氏名	日本受入機関 / 指導教官	研究（研修）テーマ	研究期間
2011	KFUPM	Dr. Mohammad Shamsuzzoha	東京工業大学 資源化学研究所 関宏也 准教授	分割壁蒸留塔のプロセス制御	6月30日～ 8月15日
		Dr. Nabil Al-Yassir	北海道大学 触媒化学研究センター 上田渉 教授	複合酸化物触媒の材料設計	7月11日～ 8月19日
		Dr. Oki Muraza	北海道大学大学院 工学研究院 増田隆夫 教授	ナノサイズセオライトの開発と炭化水素改質触媒	7月11日～ 8月25日
	INTEVEP	Dr. Luis Felipe D'Elia Camacho	名古屋大学大学院 工学研究科 松田仁樹 教授	石油コークスを用いる新規炭素系機能材料の開発	9月7日～ 11月4日
	Iraq 石油省 PRDC	Mr. Sattar Jalil Hussein	日揮触媒化成(株)北九州事業所 触媒研究所	触媒性能評価技術の研究	11月1日～ 11月30日
		Mr. Khaleefa K. Uwaid	島根大学総合理工学部 久保田岳志 准教授		
	KISR	Dr. Narjes Ghaloum	京都大学 江口浩一 教授	炭化水素からの水素製造技術と触媒開発	2月6日～ 3月1日
2012	KFUPM	Dr. Mohammad Shamsuzzoha	東京工業大学 資源化学研究所 関宏也 准教授	石油精製および石油化学プロセスのプラントワイド制御	6月7日～ 7月30日
		Dr. Oki Muraza	北海道大学大学院 工学研究院 増田隆夫 教授	ナノサイズセオライトの開発と炭化水素改質触媒への応用	6月12日～ 7月25日
	KACST	Dr. Mohammad Laffai M Alotaibi	横浜国立大学 朝倉祝治 名誉教授 (株式会社ベンチャーアカデミア)	腐食機構の基礎的研究	6月5日～ 7月20日
	UAEU	Dr. Ali Hilal Al-Naqbi	九州大学大学院 工学研究院 化学工學部門 梶原稔尚 教授	膜分離によるパイオ人工肝臓のための三次元培養法およびバイオリアクターに関する研究	6月20日～ 7月13日
	Iraq 石油省 PRDC	Ms. Saba Abdulridha Yousif Al-Rubaye	日揮触媒化成(株)北九州事業所 触媒研究所	石油精製触媒の評価に係る研究	9月11日～ 10月5日
		Ms. Ban Abdulrahman Ahme	島根大学総合理工学部 久保田岳志 准教授		
	KISR	Mr. Hassan A H M Tarish	横浜国立大学 朝倉祝治 名誉教授 (株式会社 ベンチャーアカデミア)	新しい手法による腐食の電気化学的研究	9月19日～ 10月19日
	INTEVEP	Dr. Yilda Margot Romero Perez	島根大学総合理工学部 久保田岳志 准教授 三重大学大学院 工学研究科 石原篤 教授	不均一系水素化脱硫触媒の調製とキャラクタリゼーション	10月24日～ 12月13日
2013	KACST	Mr.Mohammad Abdulrahman Alowirdy	広島大学大学院 工学研究科 塩野毅 教授	オレフィン重合に関する研究	6月11日～ 7月25日
	UAEU	Dr. Naeema Ibrahim Karam Aldarmak	東北大学大学院 環境科学研究科 Richard Smith 教授	重質油成分の低粘性化に資する固液平衡物性推算	6月24日～ 8月1日
	KFUPM	Dr. Muhammad Atiqullah	北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス科 寺野稔 教授	担持型ポリオレフィン触媒に関する研究	7月19日～ 8月28日
	INTEVEP	Dr. Gladys Esperanza Noguera Herrera	北海道大学 触媒化学研究センター 高橋保 教授 産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門 鷹薮利公 新燃料グループ長	有機金属を用いた有機合成重質油分解試験と生成物のキャラクタリゼーション	10月10日～ 11月15日、 11月18日～ 11月29日
	Iraq 石油省 PRDC	Mr. Omar Mahmood Khaleel Al-Azzawi	鳥取大学大学院 工学研究科 片田直伸教授研究室	固体酸触媒の調製、特性解析、反応試験の研究、 石油精製触媒の評価に係る研究	10月22日～ 11月8日、 11月12日～ 11月25日
		Mr. Ahmed Mohamed Joodi Al-Kinani	日揮触媒化成(株) 北九州事業所 触媒研究所		
	KISR	Mr. Mustafa A Al-Shamali	横浜国立大学 朝倉祝治 名誉教授 (株式会社 ベンチャーアカデミア)	実験を伴った石油精製プラントの腐食と防食理論と実際の研究	1月8日～ 2月19日
2014	KFUPM	Dr. Palani Arudra, Research Scientist III, Center for Refining & Petrochemicals Department	北海道大学大学院 工学研究院 有機プロセス工学部門 増田隆夫 教授	マクロサイズハイシリカZSM-5とZSM-11を用いたC6オレフィンの接触分解	7月1日～ 8月6日
	UAEU	Dr. Mohammad Sayem Mozumder, Assistant Professor, Chemical and Petroleum Engineering Departmen	鹿児島大学大学院理工学学科 筒井俊雄 教授	石油の接触分解における芳香族および多分岐炭化水素の選択性に対するゼオライト種の影響	7月14日～ 8月20日
	KACST	Mr. Nasser Judaya N. Alqahtani, Assistant Researcher, Petrochemicals Research Institute	京都大学大学院 工学研究科 大江浩一 教授	遷移金属触媒を使った芳香族複素環合成	8月1日～ 9月22日
	Iraq 石油省 PRDC	Mrs. Yasameen Mundher Jaed Al-Dulaimi Senior Chemical Eng,	北海道大学 触媒化学研究センター 朝倉清高 教授	石油精製触媒評価のための表面解析手法に関する研究 固体酸触媒の調製、特性解析、反応試験の研究	9月3日～ 9月30日、 10月2日～ 10月31日
		Ms. Marwa Nadhim Abbas Al-Juboori Senior Chemical Eng,	鳥取大学大学院 工学研究科 片田直伸 教授		
	INTEVEP	Mr. Jorge Antonio Moncada Vivas Refining and Industrialization Div.	東海大学湘南校舎理学部物理学科 分子複雑系研究グループ 八木原晋 教授	広帯域誘電分光法(BDS)及び電気化学的インピーダンス分光法などの技術による超重質原油の電気的特性の研究(EIS)	9月8日～ 11月13日
	KISR	Mr. Ahmed Mohammed Alotaibi, Research Assistant Analytical Laboratory, Petroleum Research Center	室蘭工業大学 大学院 工学研究科 くらし環境系領域 神田康晴 助教	最新脱硫触媒の評価とキャラクタリゼーション	1月7日～ 2月5日

年度	産油国機関名	研究者氏名	日本受入機関 / 指導教官	研究（研修）テーマ	研究期間
2015	KFUPM	Dr. Sahel Abuduljawad, Vice Rector	北海道大学大学院、 東工大資源科学研究所、 京都大学国際交流推進室	KFUPMと本邦研究機関のトップとの間で今後の研究者交流事業の方針を協議する	6月7日～ 6月16日
		Mr. Abduljawad Waleed Sahel N.			
	KACST	Mr. Ahmed Sulub Ali Al-Somali Researcher, Petrochemical Technology Center	広島大学大学院 工学研究院 塩野毅 教授	オレフィン重合と重合触媒開発	7月21日～ 9月11日
	KISR	Mr. Rashed Y.R.S.R Bouresli Research Associate	富山大学大学院 理工学研究部 椿範立 教授	炭化水素の水素化分解用新規ゼオライト触媒の研究	9月1日～ 9月30日
2016	Iraq 石油省 PRDC	Mr. Mustafa Hasan Flayyih	鳥取大学大学院工学研究科 片田直伸 教授 北海道大学触媒化学研究センター 朝倉清高 教授	固体酸触媒の調製、特性解析、反応試験の研究 水素化脱硫触媒ナノゼオライト触媒の調製とキャラクター化	10月7日～ 10月30日、 11月2日～ 11月30日
	Saudi Aramco	Dr. Nayef Mohsen Alanazi Lab Scientist, Supervisor, Material Performance Unit, Technical Service Division, R&D Center	①ベンチャーアカデミア（横浜国立大学 朝倉祝治名誉教授）、 ②産総研鳥羽先生（新燃料製造G長）、 研物質材料研西村先生、 ③出光千葉（腐食関係）、 ④広島大矢吹先生（物質化学工学）、 ⑤INPEX（Inhibitor関連研究）、 ⑥東大西原先生（腐食・材料・ Inhibitor関係）、 ⑦新菱冷熱工業（腐食診断技術）、 ⑧持田先生（九環協）、 ⑨東北大武藤先生（腐食・材料）、等	①腐食、防食、コーティング技術 ②～⑨日本と共同研究のパートナー訪問	7月25日～ 8月24日
	TAKREER TRC	Ms. Menwa Dakhan Pilot Plant Scientist, Plant Operation Section	出光興産株式会社 日揮触媒化成株式会社 JPEC	触媒開発/パイロット実証評価・分析	9月27日～ 10月28日
	PETROVIETNAM	Ms. Ngo Thuy Phuong Deputy Manager of Catalysis Research Dept., PetroVietnam R & D Center for Petroleum Processing, Vietnam Petroleum Institute (VPI)	早稲田大学理工学術院 松方正彦 教授	軽質ガス及び合成ガスからの分離技術の研究（ゼオ ライト膜によるガス分離）	9月28日～ 11月25日
2017	イラク石油省 PRDC	Dr. Hareth Shallan Moshref Researcher, Refining Operations Section, Refining & Gas Researches Dev.	東京工業大学 江頭竜一 准教授	石油精製分野における蒸留分離のシミュレーション	10月5日～ 11月29日
	NIORDC	Mr. Kamran Jahangiri Babadi Head of Process Engineering	コスモ石油株式会社 中央研究所	重質残渣油からの軽質、高付加価値製品の製造方 法、製油所の最適触媒選択、石油精製プロセスの 先端技術	9月2日～ 10月15日
	Saudi Aramco	Dr. Ibrahim M. Al-Zahrani Research and Development Center (R & DC)	①日揮触媒化成、 ②北陸先端科学技術大学 （水谷二郎教授、大島義文准教授、 海老谷幸喜教授、池谷俊明准教授）、 ③AIST触媒化学融合センター（固体触 媒チーム）、 ④北海道大学/触媒科学研究所 （朝倉清高所長、神谷裕一教授、 清水研一教授、増田隆夫教授、 福岡淳教授、中山哲准教授）、 ⑤室蘭工業大学（神田康晴准教授）、 ⑥東京農工大学（銭衛華教授）、 ⑦早稲田大学（関根正人教授）、 ⑧石油エネルギー技術センター （ペトロリオミクス研究室）	触媒および材料研究に関して日本の大学や研究機関 との共同研究調査	9月24日～ 10月31日
	ADNOC Refining (旧 TAKREER)	Mr. Abdulmajeed Saleh Rabia Bader Alktheeri ADNOC Refining Research Centre	出光興産株式会社 日揮、日揮触媒化成、信州大学、石油学会 第47回石油・石油化学討論会	石油精製技術および関連触媒開発（RFCC触媒、常 圧残渣油の水素化処理触媒、ペトロリオミクス）	10月30日～ 11月28日
2018	VPI	Dr. Nguyen Manh Huan Project Manager, Petrochemical Technology Dept. PetroVietnam R&D Center for Petroleum Processing	JXTGエネルギー株式会社 中央研究所	接触分解軽油（LCO）の開環による軽質油製造触 媒研究	10月22日～ 11月16日
	VPI	Mr. Tran Van Tri Project Manager, Catalysis Research Dept. PetroVietnam R&D Center for Petroleum Processing	①日揮触媒化成(株)北九州事業所、R&D センター石油精製触媒研究所 ②東京工業大学 科学技術創成研究院 ナノ空間触媒研究ユニット 横井准 教授	FCCからのオレフィン収率改善を目的としたゼオライト 添加触媒に関する研究	10月1日～ 11月26日
	イラク石油省 PRDC	Mr. Yazen Munaf Ali Al-Lami Refining & Gas Researches Dpt.	鳥取大学大学院工学研究科 片田直伸 教授	固体酸触媒の多環芳香族炭化水素の脱アルキル化	10月10日～ 11月21日
	Saudi Aramco R&DC	Dr. Manal Ali Al-Eid Research and Development Center (R & DC) Chemical Division	①JOGMEC 巴博士 ②栗田工業 クリタ開発センター ③関西ペイント東京事業所 ④大阪大学 山下教授 ⑤三重大学 石原教授	腐食防止剤、エマルジョンブレイカーの評価研究およ び高性能な水素化分解および水素化処理ゼオライト 触媒の合成研究	10月19日～ 11月16日
2018	ADNOC Refining (旧 TAKREER)	Dr. Amena Andan Al maqtari Process Engineering Section	①出光興産(株)生産技術センター、千葉 製油所 ②日揮触媒化成(株)北九州事業所 ③クリアント触媒(株)	石油精製技術および関連触媒開発（ベースオイル装 置）、オレフィンおよびアロマ製造技術および関連触 媒	10月31日～ 11月27日

年度	産油国 機関名	研究者氏名	日本受入機関 / 指導教官	研究（研修）テーマ	研究期間
2019	Saudi Aramco R&DC	Dr. Noor Nasser A Almana Research and Development Center/ Technical Service Division	北海道大学	オレフィンおよびアロマ製造技術および関連触媒開発- 重質油アップグレーディングによるオレフィンおよびアロ マ製造	8月20日～ 9月20日
	VPI	Dr. Le-Phuc Nguyen Manager of Catalysis Department, Catalysis Research Department	静岡大学	Niハニカム触媒を用いた二酸化炭素リッチ 天然ガス からの水素製造	9月23日～ 10月29日
	Saudi Aramco R&DC	Dr. Nadrah Abdullah A Alawani Advance Analysis Unit Research and development/ Technical service division	JPEC、ATRI、出光興産生産技術センター、 JXTGエネルギー中央技術研究所、AIST、 日揮グローバル、JAIST、SACLA	ペトロリオミクスの基礎から応用までの開発	11月25日～ 12月11日
	ADNOC Refining	Ms. Anoud Ibrahim Issa Taher Process Modeling and Simulation Technical Services/Research Division	出光興産、富士石油	プロセスモデルおよびシミュレーション、プロセス最適 化、反応モデルなどのスキル向上	12月4日～ 12月21日
	KISR	Mr. Rashed M MMD Alazemi Corrosion Assessment & Mitigation Technology Program (CAMT) Petroleum Research Center (PRC)	横浜国大、JOGMEC、新菱冷熱工業、 NIMS、 大阪大、ベンチャーアカデミア	腐食および材料選定 -腐食の基礎と 応用研究	1月7日～ 1月30日
	イラク石油省 石油研究開発 センター (PRDC MoO)	Mr. Maan Mudhafar Al Rawe Senoir Chemical Engineer	コスモ石油中央研究所	ライトナフサの異性化に用いる、白金・硫酸ジルコ ニア触媒の合成および触媒評価研究	1月8日～ 2月7日
2020	VPI	Dr. Huynh Minh Thuan	早稲田大学 先進理工学部 応用化学科 野田優 教授	化学気相蒸着法によるメタンおよび二酸化炭素から のカーボンナノチューブ合成	11月2日～ 2月24日 (月1回オンライン 開催)
2021	Iraq PRDC MoO	Dr. Samer Gheyath Abdulridha	鳥取大学 片田直伸 教授	VGO触媒分解用メソポーラスゼオラ イト材料の研究 開発	11月16日～ 2月22日 (月1回オンライン 開催)
	KISR	Ms. Tahani Awwad Al Shammari	産業総合研究所 炭化水素資源転換グループ 森本正人 研究グループ長	ペトロリオミクスのアスファルテン凝集モデル	10月18日 (オンライン開催)
2022	Iraq PRDC MoO	Mr. Husam Jumaah Mousa	三重大学 石原篤 教授	軽質留分の硫黄除去を目的としたゾル-ゲル法による Y-ゼオライトの調製とその特性評価	1月11日～ 1月31日
	KFUPM	Dr. Gazali Tanimu	産総研 触媒化学融合研究センターデジ タル駆動化学チーム 研究チーム長 矢田 陽 博士	機械学習による触媒パラメータのシミュレーションと 反応収率の予測	1月16日～ 2月10日
2023	Aramco R&DC	Dr. Mohammed Zuhair A Albahar	東京大学 大学院 工学系研究科 脇原 徹 教授	ピーズミリングと再結晶によるナノZSM-5ゼオライト合 成のトップダウンアプローチの習得	11月6日～ 12月26日
	Iraq PRDC MoO	Dr. Halah Mohammed Hussein	三重大学 石原篤 教授	白金／ナノシリカ-HMOR複合触媒の異性化反応に おける活性	1月15日～ 2月9日
2024	KFUPM	Dr. Hassan Saeed A Alasiri	ENEOS(株) 中央技術研究所 デジタル研 究所 MI 技術グループ	計算科学を用いた炭化水素処理触媒反応の探索を テーマとしたENEOS 中央技術研究所での研究実習	7月9日～ (8月1日) 体調不良で 7月13日帰国
	Aramco R&DC	Dr. Rashed Mohammad R Aleisa	・ 出光次世代技術研究所、生産技術セ ンター（環境負荷の低減、二酸化炭 素利用、アンモニア製造他） ・ 東京工業大学 原田琢也 准教授（炭 素循環） ・ 早稲田大学 松方正彦 教授（プラスチ ックリサイクル） ・ 東京工業大学 多湖輝興 教授（二酸 化炭素利用）	環境負荷低減、炭素リサイクル、廃棄物の有価化、 二酸化炭素や水素変換に関する、触媒設計やプロセ ス実験を含めた、触媒プロセス開発	8月26日～ 10月2日
	Iraq PRDC MoO	Dr. Dalya Jasim Ahmed	室蘭工業大学 神田康晴 准教授	軽質留分の水素化脱硫用NiMo/TiO2-AC-グラフェ ンナノ触媒の調製	8月1日～2 月4日 (オンライン指導 4回)

※ 研究者受入事業は2019年度から研究者交流事業のなかの研究者受入として実施。

	国名	件数
産油国研究者の受入実績	サウジアラビア	80
	クウェート	42
	UAE	14
	イラク	16
	イラン	1
	ベトナム	5
	ベネズエラ	6
	合計	164